



サイン

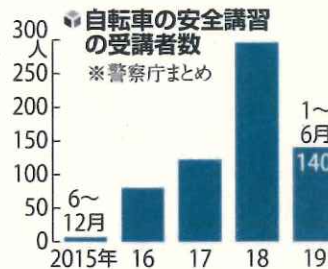
年 組 ( ) 名前

# 信号無視、携帯、イヤホン……

## 摘発後の安全講習 受講最多

15年6月施行の改正道路交通法などは自転車の信号無視や酒酔い運転、携帯電話を操作する「ながら運転」を含む安全運転義務違反など14項目を「危険行為」と規定。3年以内に2度摘発された自転車運転者に安全講習の受講が義務づけられた。警察庁によると、今年6月までの4年間に危険行為で摘発されたのは7万5481人。最も多いのが信号無視で44%、遮断踏切への立ち入りは22%、脇見やスマートフォンを見るなどの「ながら運転やイヤホンで

自転車では危険運転を繰り返し、安全講習を受講した交通違反者が、2015年の制度開始以降、毎年増加し、昨年は過去最多の296人上ったことが警察庁のまとめでわかった。歩行者を巻き込む事故が年間2000件以上起きており、全国の警察本部は摘発を強化している。



### 自転車の主な危険行為

- ・信号無視
- ・歩行者用道路で徐行せず
- ・不必要な歩道通行など
- ・遮断踏切への立ち入り
- ・指定場所での一時不停止
- ・歩行者妨害など
- ・ブレーキ不良
- ・酒酔い運転
- ・携帯電話使用など安全運転義務違反

## ルール学び 改善策話す

この流れとは別に、3年以内に危険行為で2度摘発されると、命令書を交付されてから3か月以内に全国の運転免許センターなどで安全講習を受講する。約3時間の内容は、自転車の安全講習を受講した交通違反者が、毎年増加しています。

# 自転車 危険運転やまず

(2019年11月18日 読売新聞夕刊より)

◆自転車でスマートフォンを見る「ながら運転」などを繰り返し、安全講習を受講した交通違反者が、毎年増加しています。

音楽を聴くなどの安全運転義務違反が14%だった。このうち安全講習の受講者は15年7人、16年80人、17年122人、18年296人で、今年上半期(1~6月)は140人。計645人の年代は、20歳代23.7%、30歳代16.7%、10歳代が6.5%で、10~30歳代で46.9%を占めた。自転車歩行者を巻き込む事故は、昨年1年間に全国で2756件発生し、2人が死亡。茨城県つくば市では昨年6月、男子大学生がマウンテンバイクで歩行者をはねて死亡させ、県警が重過失致死容疑で書類送検した。大学生は遺族にスマートフォンを操作しながら運転していたと謝罪したという。

【1】記事中の表「自転車の主な危険行為」の中で、あなたが見聞きしたことのあるものに○をつけましょう。(記事中の表に書きましょう)

【2】安全講習の受講が義務付けられたのはどのような人ですか。説明しましょう。

【発展問題】記事を読んであなたが感じたことや考えたことを裏面に書きましょう。